

新宿区平和マップ

地域文化財制度

私たちの身近にあって、まちの歴史や文化を物語る「もの」や「場所」を認定し、その歴史的・文化的意義を未来に継承するため、平成23年4月から「地域文化財制度」を創設し、戦争中の施設や戦災に関する遺跡・記録などを地域文化財（平和分野）として認定しています。
詳細は区ホームページをご覧ください。
地域文化財制度 https://www.city.shinjuku.lg.jp/kanko/bunko02_000004.html



平和石 (地域文化財・平和分野)
★D-4 | 新宿区目黒天満神社内

昭和20年5月25日夕方、家族5人で早稲田通りの防空壕に入った。「お釜にご飯が残っている」との母の一言で、リヤカーに釜を載せて戻ったところ満員。神田川を渡って目白台の坂を登り、夜明け頃後ろを向いてビュッ。早稲田の方が海のようになった。

戸塚町一丁目 早稲田大学大隈講堂
★B-5



「大隈講堂近く迄来た空襲の惨状」
お釜 中野 正雄

戦争体験画とは、新宿区(旧四谷区・牛込区・淀橋区)は東京空襲で大きな被害を受け、人口も昭和15年の39万4480人から、昭和20年の8万3106人へとピーク時の4分の1以下に減少しました。このような悲惨な出来事の数々の記憶も過去のものとなりつつあります。戦争体験画は戦争を体験した方の記憶を語り継ぎ、平和の尊さを後世に伝えていくため、区民の方などから寄せいただいたものです。
〔新宿区平和都市宣言20周年記念誌〕より転載

「東京大空襲(新宿方面)」

高島 瑞夫
昭和20年4月13日、14日は、新宿方面をわたった最大級の空襲だった。B29の大編隊が来襲してくる。焼夷弾がザラッと音を立てて落ちてきて、たちまち火の手が上がる。人々の叫び声、火の音と煙、逃げ惑う人々、地獄絵だ。本音が手帳にこぼれた。



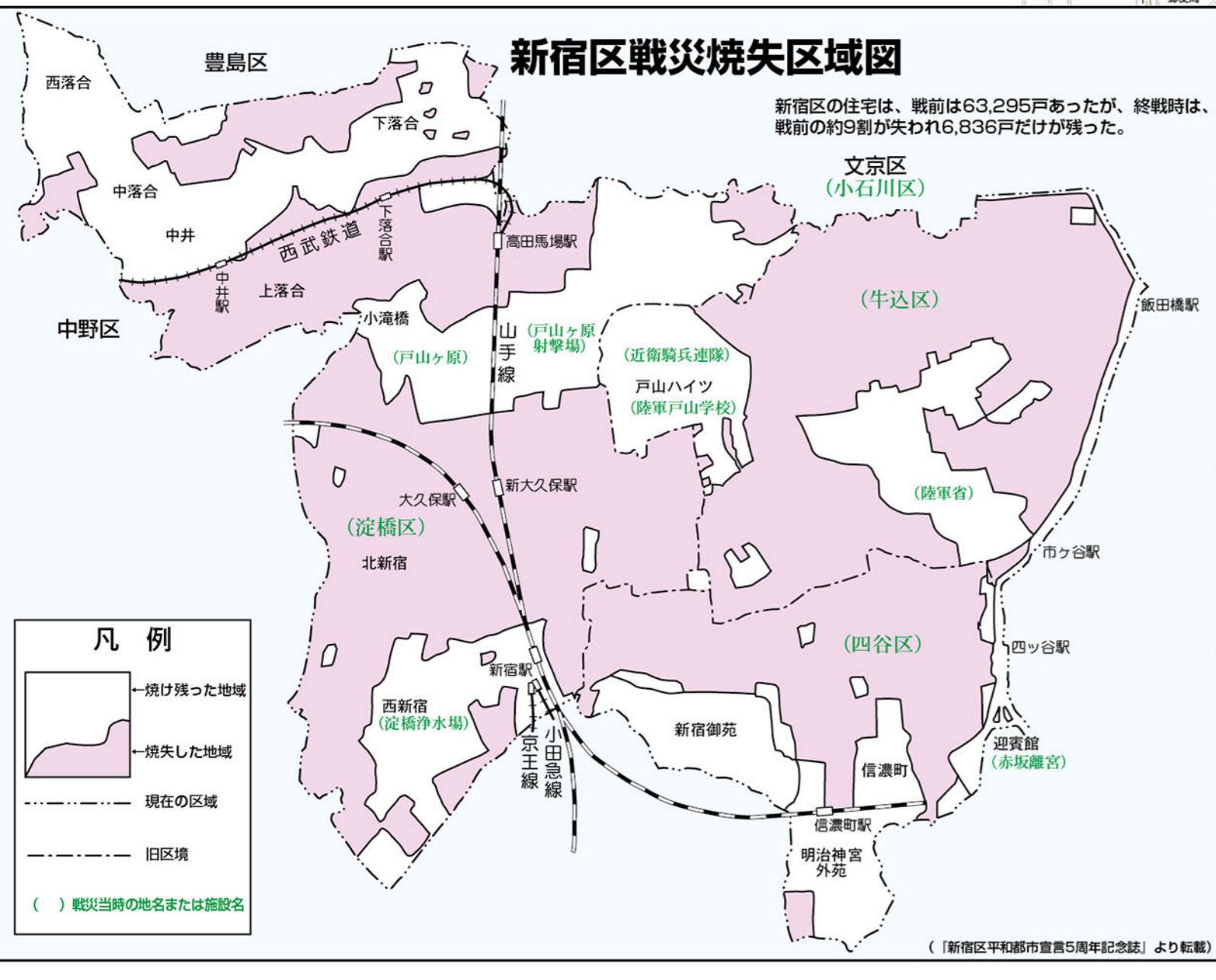
「空襲に追われて」
たなか わし
高田馬場四丁目
★B-3



「超低空で焼夷弾を落とす超空の要塞B29」
北新宿四丁目
佐久間 国三郎

新宿区戦災焼失区域図

新宿区の住宅は、戦前は63,295戸あったが、終戦時は、戦前の約9割が失われ6,836戸だけが残った。



太平洋戦争～空襲～終戦年表

昭和16(1941)	12月8日	太平洋戦争始まる
昭和17(1942)	4月18日	米軍機16機、東京(品川・荒川・王子・牛込(早稲田・鶴巻町・馬場下町)・小石川(等々力)・川崎・横須賀・名古屋・神戸)など空襲 *いりの碑
昭和18(1943)	10月	学童出陣 *出陣学童行の地碑
昭和19(1944)	1月26日	東京・名古屋に防空法による初の建物疎開命令。密集地の建物を強制撤去し *学童集団疎開始まる
昭和20(1945)	3月9日	B29約300機、10日にかけて東京を空襲。江東区などに焼夷弾を投下。全焼家屋約25万9000戸、死者約7万6000人。都庁舎焼失
昭和20(1945)	4月13日	B29約160機、14日にかけて山の手地域空襲。明治神宮焼失(四谷・牛込・淀橋三区も被害大) *日本出版クラブ会館のイチョウ *稲荷鬼王神社のスタジオ
昭和20(1945)	5月24日	B29約250機、東京空襲。区部大被害。宮城焼失(四谷区被害)
昭和20(1945)	5月25日	26日にかけてB29二百数十機、東京の市街地を襲撃。この空襲により区部の大部分土壌を土壌(淀橋区役所・新宿駅および構内の建物ほとんど焼失) *幸国寺の大イチョウ *善久井町観音 *戦災者供養のための観音像 *鐘神社のイチョウ
昭和21(1946)	4月26日	東京裁判始まる *防衛省市ヶ谷記念館
昭和21(1946)	11月3日	日本国憲法公布(昭和22年5月3日施行) *マップ掲載スポット 〔新宿区区成立50周年記念「より一部抜粋

コース案内

- A (四谷・神楽坂)コース
- B (信濃町・神宮外苑)コース
- C (夏目坂・箱根山)コース
- D (高田馬場・西早稲田)コース
- E (大久保・新宿)コース

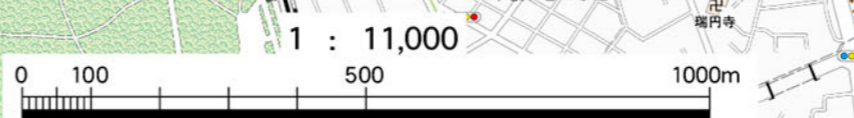
●(豆知識)は、要予約または見学不可
*マップ掲載スポット

新宿区周辺を循環する 新宿WEバス

運賃
●乗車1回につき100円
(未就学児は無料)
●1日乗車券300円もあります。

SHINJUKU WE BUS

※運行の詳細については、新宿区公式ホームページをご覧ください。



出陣学童行の地碑

出陣学童行の地碑

出陣学童行の地碑

平和の泉・平和祈念像・平和の灯・新宿区平和都市宣言記念板

平和の泉・平和祈念像・平和の灯・新宿区平和都市宣言記念板